

第1回キャビネット会議提出資料

11R RC 堀田 晃平

① あなたは今期リジョン内にどのような灯(ひ)を灯しますか？

11Rは前期に1ゾーン化された。当期はその2年目である。

1年目は1ゾーン化された状況に対応することに時間やエネルギーを費やした面がある。2年目の今期は、その1年目を土台として、11Rがそこから飛躍するジェットエンジンのような原動力に灯を灯したい。

② 会員拡大10%(正会員・支部会員)と新クラブ・新支部結成について

目標としては期首会員数273名から、期末時点300名を超えることとする。

変動要素として、リジョン内で複数クラブが合併を検討していて、実現する可能性が高い。その場合、家族会員が大幅に減少したり、合併を機会に退会するメンバーが出てくると思われ、予想が難しい部分がある。

③ リジョンの特性を生かした新しいアクティビティについて

11Rは行政区が東大阪市、大東市、四條畷市の3市がある。また東大阪市は3つの市(布施市、河内市、枚岡市)が合併したこともあり、警察署や郵便局がそれぞれ3つに分かれている。合同アクティビティを考える場合、どこか1カ所で集まって行うとどうしても地域的な偏りが出てしまう。そこで、9つのクラブそれぞれが同じ一つのテーマでアクティビティを行うという形で行いたいと考えている。ZCからは一つのアイデアとして地域の児童養護施設に対する奉仕活動をそれぞれのクラブで行う形を提案してもらっている。

④ 他団体との協働(共催アクティビティ)について

合同アクティビティの他案として、地域の警察署や地域の教育委員会との協働をZCと相談中である。

すでに実施中のものとしては、地域のふれあい祭り、パレードの参加、ボランティア団体との協働での障害をもった人とのバリアフリーマラソン、学校園の教職員先生の生活指導協議会との協働で薬物乱用防止セミナーなどを行っている。

⑤ リジョン内の新会員の交流と育成について

新会員の育成はリジョン内では各クラブに任せているというのが現状である。

前期に各クラブでのメンタープログラムの実施状況などの情報収集は行っている。

⑥ LCIF(ハーモニー100キャンペーン)について

ゼロクラブは昨年度もなかったなので、今年度も引き続き理解協力をお願いする。

⑦ 組織改革(スモールクラブ・事務局・リジョン／ゾーン等)について

11Rはここ10年、クラブが解散や合併により減少するということが続いてきた。
(6クラブが減少している)

組織に問題があるということも事実だが、意識が原因となっている部分も大きいように思う。組織に変革を加えても意識も変えなければならないという要素が抜けてしまうと、さらにメンバーが減少してしまうだけという結果になりかねない。

意識の部分の説明努力を懸命に行っていきたい。

⑧ その他

特になし